ドストエーフスキー小論（虎之助）
蕪村夢物語を讀む（無名氏）
シンケと愛蘭土思想（寛）
詩壇の一轉機（省吾）
香木集（夕暮）
平賀元義の歌（篤二郎）
紀貫之論（柴舟）
邏昭と素性（直七郎）
木下宰文の研究（遙峰）
高市黒人の歌（宗助）
歌人大陽言道（信綱）
古事紀新釋（安）
木下宰文につひて（英一）
文豪ウエルズの「見えざる王としての神」（哲藏）
萬葉集に現はれたる土俗（太郎）
小野小町（操子）
西行研究（重常）
芭蕉句選（奇峰）
ヘツベルの悲劇的運命の世界（後文）
北原白秋の心境（二郎）
「生ける尻」の三ツの進路（梅子）
ブーゴーチルフノ傳（ローラン、次郎譯）
文藝に於ける内潛的及遠心的態度（重治）

「帝國文學」
「帝國文學」
「新潮」
「新潟」
「詩歌」
「詩歌」
「水甕」
「水甕」
「珊瑚礁」
「心の花」
「國民文學」
「國民文學」
「六合雜誌」
「潮音」
「潮音」
「潮音」
「潮音」
「藝術」
「黒瞳」
「家庭生活」
「思潮」
「東洋哲學」

會計報告

大正六年度第三學期決算

一、收入之部　一九七、三八円

前學期繰越高　一三九、二九円
内譯
會員會費　三三、〇〇〇
賛助員會費　二九、〇九〇

一、支出之部　八一、六五五円

會誌第十九號印刷代　六九、七三円
内譯
同發送費　五、六〇〇
講演者謝禮　五、〇〇〇
雜費　一、三二五

一、差引殘高　一一五、七二五円

會費領收報告

大正四、五、六年度分
始關ふさよ　舘つれ　鷲尾幾子
中原伊久野

大正四、五年度分
鹽澤ふき　小林いろ

大正五、六年度分
有竹ハナ　富澤芳　湯川タキ
落合トヨ　土橋おり　鈴木はる
林はる　中川あや　芦川春子
練木操　中山聰子　山崎かつ子

飯沼檀　富岡きぬ　半田たま
佐津川文　西脇りか　江藤馨
ため　市瀬千尋　野津みさを
長谷川すが　須甲下枝　國枝琴
太田みつ　淺野房野　佐藤みそ子
安岡寅惠　佐藤チカ　佐々木清
本田よしゑ　富澤美穗　前島美子
稻垣のぶ

大正六年度分
江藤やす　島津みち　伊地知あぐり
青山はな　山下サイ　阿部とき
山野スミレ　丸山もと　平井せつ
倉田松代　江見せつ　前田のゑ
小曾戸芳　佐藤ハナ　大澤キミ子
清水俊尾　水野シゲ　中村かつ
木村はなか

大正七年度分
武川正代　佐藤キヨシ

大正五、六、七年度分
森かよ　大瀧晴

大正六、七年度分
林たれ

大正五、六、七、八年度分
八木恭子

大正七、八年度分
佐津川文　澤ため